

産業廃棄物適正管理能力検定 導入企業インタビュー

住友林業株式会社
住宅・建築事業本部 品質保証部 安全環境・検査室長

森 祥司 氏

聞き手：子安 伸幸（一般社団法人企業環境リスク解決機構 理事 兼 事務局長）

産業廃棄物適正管理能力検定の創設から3年。

導入されている企業ではどのような思いで本検定をご活用いただいているのか。

今回は第9回検定で約90名の方に出張事前対策セミナーと検定をご活用いただいた住友林業株式会社にて、同社安全環境・検査室長 森 祥司氏にお話を伺いました。

森 祥司 氏

「レベルの統一」がリスク軽減のカギ

子安 廃棄物管理における排出事業者のリスクについて、どのようにお考えでしょうか。

森 廃棄物処理法が排出事業者責任を定めているため、排出事業者として廃棄物を扱うすべてがリスクであると考えています。特に当社は、北海道から九州まで事業所があり、そこで同じレベルの管理をする必要があります。しかも行政によって規制の運用の違い等があり注意深い対応が求められます。



子安 伸幸

子安 レベルを整えるということですね。

森 そうです。私たちの部署では産廃だけでなく、品質検査や安全管理も担当しているのですが、どの分野でも「デコボコ」があります。非常に高いスキルと意識を持ってやっている所もあれば、それ程でもない所もある。凸はいいのですが、凹のところは弱点を埋めて、平らにすることが我々の役割ではないかと思っています。凹のところをそのままにしておくと、いつかはリスクが顕在化してそれが会社にとってのダメージになる。それを防ぐためには全国のレベルをチェックしてどの支店の何が弱いのかを把握し、きちんとフォローしていく必要があると考えています。

子安 なるほど。それとこの検定がマッチしたということですね。

森 今まで当室の社員が講師となる社内研修をやってきていて、とにかく受け手側が理解しやすい研修内容にするように工夫してきました。特に産廃では、講師の知識が専門的になってしまいがちです。品質や安全管理よりも産廃管理が一番、専門部署と現場の人たちとの間で意識や知識が乖離していると感じています。

子安 確かに、品質であれば一般のお客様でも「丈夫さ」だとか想像はできますよね。

森 そういうわかりやすさが産廃には少ない。そこが、皆さんが覚え難かったり、食わず嫌いだったりする要因だと思います。

資格取得がよりどころに

子安 本検定に合格する、ということの意味はどのように評価していますか。

森 当社の産廃管理にかかわる公的資格というと特別管理産業廃棄物管理責任者の資格がありますが、民間の排出事業者向け資格ではこの検定試験が唯一のものと認識しています。資格を取得するということは業務を行っていくうえで一つのよりどころにつながるものと思いますし、そこが今回導入に踏み切ったポイントでもあります。会社としても、産廃管理の知識・力量をこの検定の合格を以て認定することを考えております。

子安 実際受験された方の声も聞こえていますか？

森 自分の知識レベルがわかった、普段仕事をしていた知らないことが分かったという声がありました。また、自主的に問題集を購入した人も多く、興味を持ってもらっている実感はあります。社内研修ではどうしても業務などで中座したり、ということが起こってしまいますので、今回はちょうど立ち

止まって産廃のことをしっかり学ぶ機会として、このような試みができたことはよかったと考えています。

求められるのは「正しい初動」

子安 今回ご受験頂いた検定試験には、さらにレベルが高く、建設業に特化した検定応用編建設系コースもあります。

森 最終的には当社の生産責任者に対しては応用編合格というのを到達点にしようと思っています。ひとつの事業所で年間100棟～250棟の建物を管理する立場にありまので、基本的にはその生産責任者が関係する取引先などへの指導ができないといけなと考えています。今は我々が訪問して研修などを行っていますが、本来各支店の責任者がきちんと指導、管理ができればいいですね。ただ、今の時点では少しハードルが高いのも事実です。

子安 応用編の方はまだ開催回数も少なく、色々試しながら開催しています。一つの方向性としては、どんな状況があっても、まず初動の判断ができるというところを論点に問題を作っていくと考えています。

森 そうですね、初動はとても重要です。初動を間違えると本当に大変なことになりかねません。すぐ相談することが大切で、事態に対する意識が低く事後報告になってしまつて…となるのが一番さけるべきことです。だからこそ、応用編ではベースとなる知識があるうえで、正しい初動判断と行動ができる能力について確認できる内容が重要であると思います。

子安 ありがとうございます。それに応えられるようなものを頑張って作っていきます。今日はありがとうございました。